

島根県の経済動向

平成 22 年 1 月 28 日
政策企画局統計調査課

平成 21 年 11 月分

先月からの主要変更点 なし

	11 月 分	10 月 分
総括判断	本県経済は、一部で持ち直しの動きがみられるが、全体としては厳しい状況にある。 生産活動は持ち直しの動きがみられ、個人消費も低調ながら一部に持ち直しの動きがみられるが、雇用情勢は厳しい状況、投資動向も基調としては弱い動きが続いている。	本県経済は、一部で持ち直しの動きがみられるが、全体としては厳しい状況にある。 生産活動は持ち直しの動きがみられ、個人消費も低調ながら一部に持ち直しの動きがみられるが、雇用情勢は厳しい状況、投資動向も基調としては弱い動きが続いている。
個別項目		

島根県の経済動向

平成21年11月分

平成22年1月28日
政策企画局統計調査課

**一本県経済は、一部で持ち直しの動きがみられるが、
全体としては厳しい状況にある。－**

生産活動は持ち直しの動きがみられ、個人消費も低調ながら一部に持ち直しの動きがみられるが、雇用情勢は厳しい状況、投資動向も基調としては弱い動きが続いている。

生産活動	→	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は84.6と依然として低い水準ではあるが、前年同月比1.0%と16か月振りに前年を上回った。また、大口電力需要実績も▲5.0%と減少幅が縮小しており、生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	→	～厳しい状況～	有効求人倍率は0.64倍と上昇し、新規求人数は▲0.9%とほぼ横ばいであった。常用労働者数は5か月連続で前年を下回ったが、現金給与総額は2か月連続、きまって支給する給与は5か月振りに前年を上回り、所定外労働時間（製造業）も▲3.3%と下げ幅が減少するなど改善の兆しもみられるが、雇用情勢は、厳しい状況が続いている。
個人消費	→	～低調ながら一部に持ち直しの動き～	大型小売店販売額は11か月連続で前年を下回り、ホームセンター販売額も4か月振りに前年を下回った。一方で、家電量販店販売額は3か月連続で前年を上回り、乗用車新車登録台数も21.0%と4か月連続で前年を上回するなど、個人消費は、低調ながら一部に持ち直しの動きがみられる。
投資動向	→	～基調としては弱い動き～	建築着工床面積（非居住用）は2か月連続で前年を下回った。一方で、公共工事請負金額は3か月連続で前年を上回り、新設住宅着工戸数も9か月振りに前年を上回ったが、投資動向は、基調としては弱い動きが続いている。
企業倒産	→	～倒産件数3件～	企業倒産件数は3件。うち建設業は2件、製造業は0件。
金融情勢	→	～貸出金残高は対前年0.1%増～	銀行預金残高は17か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は7か月連続で前年を上回った。
物 価	→	～対前年1.3%下落～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.9となり、対前年同月比1.3%減と9か月連続の下落となった。
その他 (参考)		島根県景気動向指数 (平成22年1月28日公表) 法人企業景気予測調査結果 (平成21年12月24日公表)	景気動向指数の先行指数は2か月振りに50%ラインを上回った。 一致指数は7か月連続で50%ラインを上回った。 財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状(21年10～12月期)は▲6.1%ポイントと前期に比べ「下降」超幅が縮小している。 [先行きについては、翌期(22年1～3月期)に「下降」超幅が拡大し、翌々期(4～6月期)には「上昇」超に転じる見通し。]

経 済 指 標		前年同月比（＊を除く）％					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産活動	＊ 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	76.2	81.7	80.5	83.0	82.0	84.6
	〃 （原指数）	▲ 22.9	▲ 21.6	▲ 19.3	▲ 17.0	▲ 15.4	1.0
	大口電力需要実績	▲ 23.3	▲ 22.0	▲ 18.9	▲ 15.6	▲ 13.1	▲ 5.0
雇用情勢	＊ 有効求人倍率（倍）	0.59	0.61	0.59	0.61	0.61	0.64
	新規求人数	▲ 13.1	▲ 5.2	▲ 18.9	▲ 10.3	▲ 1.0	▲ 0.9
	常用労働者数	0.5	▲ 0.5	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 2.5	▲ 2.3
	現金給与総額	▲ 1.6	0.0	▲ 1.2	▲ 0.9	0.2	1.4
	きまって支給する給与	1.0	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 0.3	1.5
	所定外労働時間（製造業）	▲ 46.7	▲ 39.5	▲ 29.7	▲ 26.6	▲ 18.2	▲ 3.3
個人消費	大型小売店販売額	▲ 7.9	▲ 8.6	▲ 6.6	▲ 4.1	▲ 7.4	▲ 10.5
	ホームセンター販売額	1.6	▲ 7.4	3.3	5.6	3.9	▲ 3.0
	家電量販店販売額	▲ 4.9	▲ 6.8	▲ 3.1	0.2	4.0	0.9
	乗用車新車登録台数	▲ 7.0	▲ 0.5	0.5	10.7	11.1	21.0
	出雲空港利用者数	▲ 12.7	▲ 7.5	▲ 21.4	▲ 4.5	▲ 7.5	▲ 6.7
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	▲ 79.4	▲ 12.9	▲ 6.8	12.9	▲ 50.6	▲ 47.8
	公共工事請負金額	▲ 9.7	▲ 23.4	▲ 19.8	10.9	16.3	80.9
	新設住宅着工戸数	▲ 21.1	▲ 13.3	▲ 26.6	▲ 28.2	▲ 55.2	49.8
企業倒産	＊ 企業倒産件数（件）	6	6	10	4	6	3
	＊ 負債総額（百万円）	777	271	1,123	66	204	305
金融情勢	銀行預金残高	0.8	1.0	1.5	1.5	2.8	2.8
	銀行貸出金残高	0.0	1.6	0.9	0.7	0.2	0.1
物 価	＊ 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	100.6	100.5	100.5	100.8	100.9	100.9
そ の 他	＊ 景気動向指数（先行指数）	57.1	85.7	100.0	85.7	42.9	71.4
	＊ 景気動向指数（一致指数）	77.8	66.7	66.7	66.7	77.8	66.7

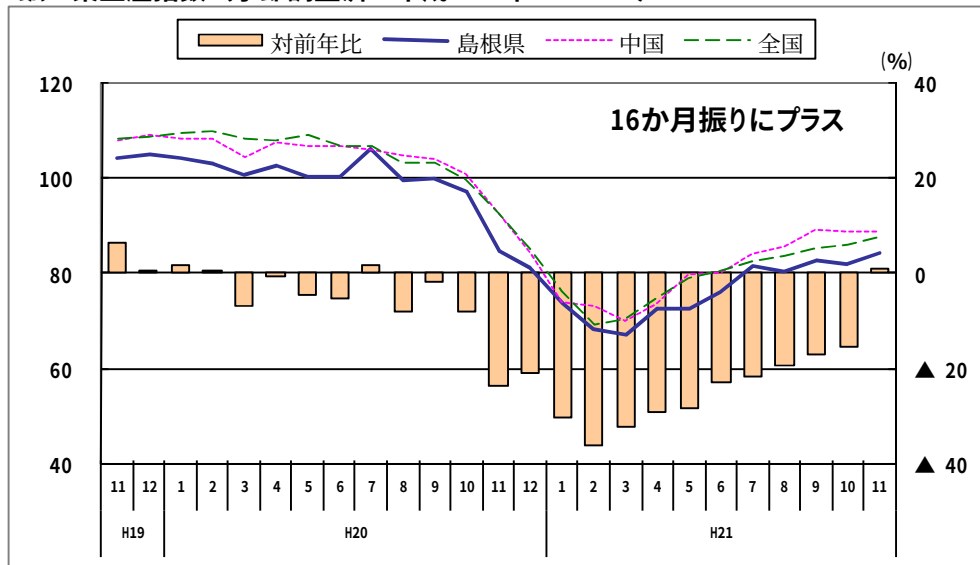
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」 平成22年1月20日											
	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。 ・輸出は、アジア向けを中心に、増加している。生産は、持ち直している。 ・企業収益は、大幅な減少が続いているが、そのテンポは緩やかになっている。設備投資は、下げ止まりつつあるものの、このところ弱い動きもみられる。 ・企業の業況判断は、依然として厳しい状況にあるものの、全体として持ち直しの動きが続いている。ただし、中小企業では先行きに慎重な見方となっている。 ・雇用情勢は、依然として厳しい。 ・個人消費は、持ち直しの動きが続いている。 ・物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。 先行きについては、当面、厳しい雇用情勢が続くとみられるものの、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待される。一方、雇用情勢の一層の悪化や海外景気の下振れ懸念、デフレの影響など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。											
中国 地方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成22年1月18日											
	中国地域の景気は、雇用は厳しい状況が続く、設備投資は減少しているものの、生産は持ち直しの動きがみられ、景況感は厳しい水準ながら持ち直しの動き、個人消費は低調ながら一部に持ち直しの動きとなるなど、総じてみると、低迷しているものの持ち直しの動きがみられます。 <table border="0"> <tr> <td>1. 生産動向…持ち直しの動き</td> <td>2. 景況感…厳しい水準ながら、持ち直しの動き</td> </tr> <tr> <td>3. 産業用電力需要…持ち直しの動き</td> <td>4. 物価…下落傾向</td> </tr> <tr> <td>5. 個人消費…低調ながら、一部に持ち直しの動き</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 設備投資…減少</td> <td>7. 建設動向…公共工事は増加、住宅建設は低調</td> </tr> <tr> <td>8. 雇用動向…厳しい状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 企業倒産…減少傾向</td> <td>10. 貿易…持ち直しの動き</td> </tr> </table>	1. 生産動向…持ち直しの動き	2. 景況感…厳しい水準ながら、持ち直しの動き	3. 産業用電力需要…持ち直しの動き	4. 物価…下落傾向	5. 個人消費…低調ながら、一部に持ち直しの動き		6. 設備投資…減少	7. 建設動向…公共工事は増加、住宅建設は低調	8. 雇用動向…厳しい状況		9. 企業倒産…減少傾向
1. 生産動向…持ち直しの動き	2. 景況感…厳しい水準ながら、持ち直しの動き											
3. 産業用電力需要…持ち直しの動き	4. 物価…下落傾向											
5. 個人消費…低調ながら、一部に持ち直しの動き												
6. 設備投資…減少	7. 建設動向…公共工事は増加、住宅建設は低調											
8. 雇用動向…厳しい状況												
9. 企業倒産…減少傾向	10. 貿易…持ち直しの動き											
山陰 地方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2009年12月25日											
	山陰両県の景気は、なお厳しい状況にあるが、緩やかに持ち直しつつある。すなわち、生産は、これまでのところ着実に回復しており、企業の収益や業況感も緩やかな改善が続いている。また、設備投資は、製造業を中心に下げ止まりつつあるほか、公共投資も足もと増加している。こうした中、雇用・所得情勢は、厳しい状況にあるが、労働需給の悪化には歯止めが掛かりつつある。一方、個人消費は、全体として低調な動きが続いており、住宅投資も極めて低い水準が続いている。 ・生産は、これまでのところ着実に回復している。 ・個人消費は、政策効果がみられる一部の耐久消費財を除き、低調な動きが続いている。 ・設備投資（12月短観調査）は、製造業を中心に下げ止まりつつある。 ・公共投資は、足もと増加している。 ・住宅投資は、極めて低い水準が続いている。 ・雇用・所得情勢は、厳しい状況にあるが、労働需給の悪化には歯止めがかかりつつある。											
	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2009年12月28日											
	当地の景気は、住宅建設や雇用情勢、設備投資などで厳しい状況が続くものの、公共投資が堅調に推移し、個人消費の一部や生産で持ち直しており、足元、下げ止まりの動きもみられる。 ・公共投資は、堅調な推移が続いている。 ・設備投資は、全産業でも前年度を下回る計画（日銀短観12月）。 ・住宅建設は、極めて低調な推移が続く。 ・個人消費は、低調な推移ながら、一部に持ち直しの動きがみられる。 ・生産は、基調としては持ち直している。 ・雇用情勢は、総じて厳しい状況にある。 ・企業の業況判断は、足元（09年12月）、製造業、非製造業ともに改善したことから、全産業も改善（▲42→▲35）。先行き（10年3月）については、製造業では改善を予想しているものの、非製造業では悪化を予想しており、全産業では悪化（▲35→▲40）の見通し（日銀短観12月）。											
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 平成21年10月27日（四半期ごとに公表）											
	県内経済は、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。個人消費は引き続き弱い動きとなっており、雇用情勢も有効求人倍率が低水準で推移しているなど、厳しい状況が続いている。一方、生産活動は持ち直しの動きがみられる。 ・個人消費 引き続き弱い動きとなっている ・生産活動 低水準ながらも持ち直しの動きがみられる ・雇用情勢 厳しい状況が続いている ・公共事業 前年度を上回っている ・設備投資 21年度は減少見通し ・企業収益 21年度は赤字幅縮小見通し											

経済指標の推移

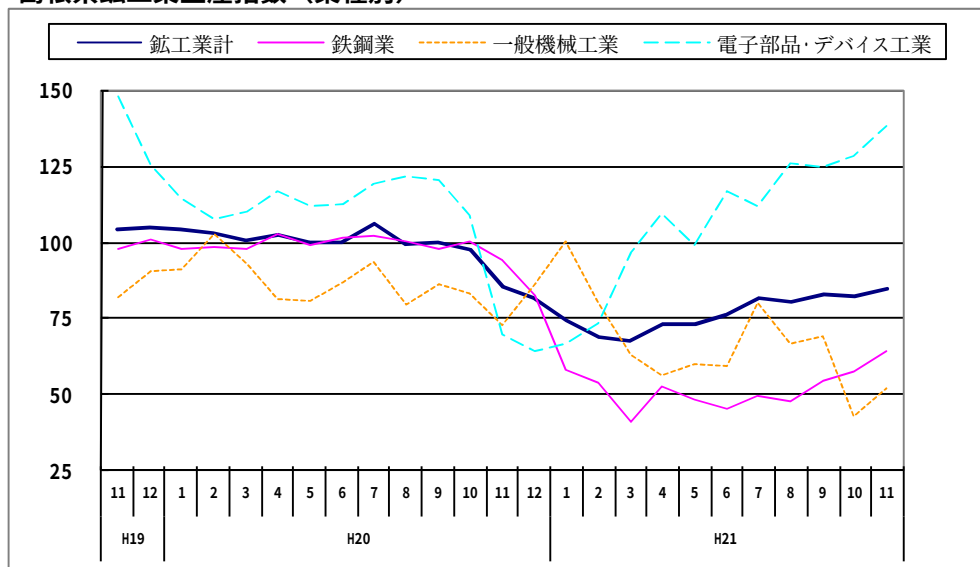
【生産活動】 ～持ち直しの動き～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成17年＝100）



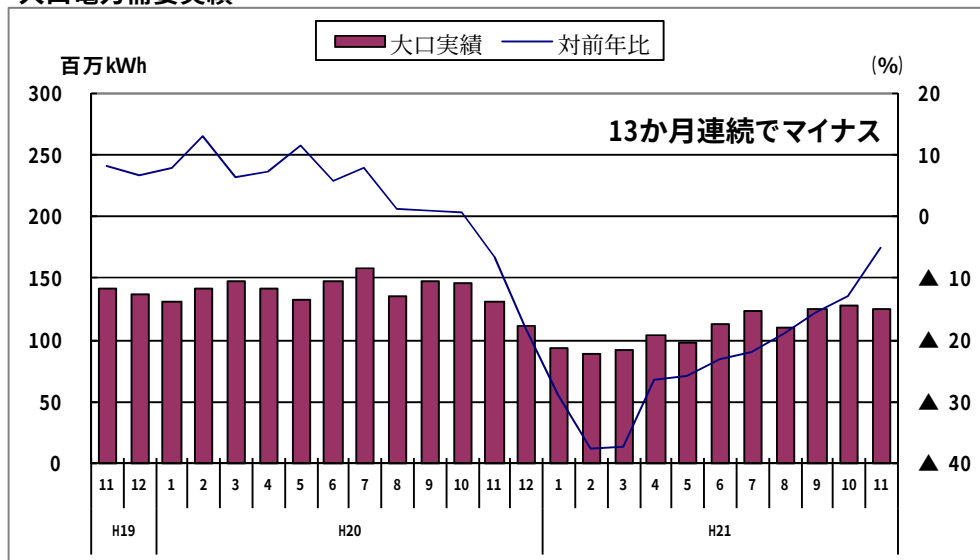
（注）対前年比は、島根県の実指数 （県統計調査課、経済産業省）

島根県鉱工業生産指数（業種別）



（県統計調査課）

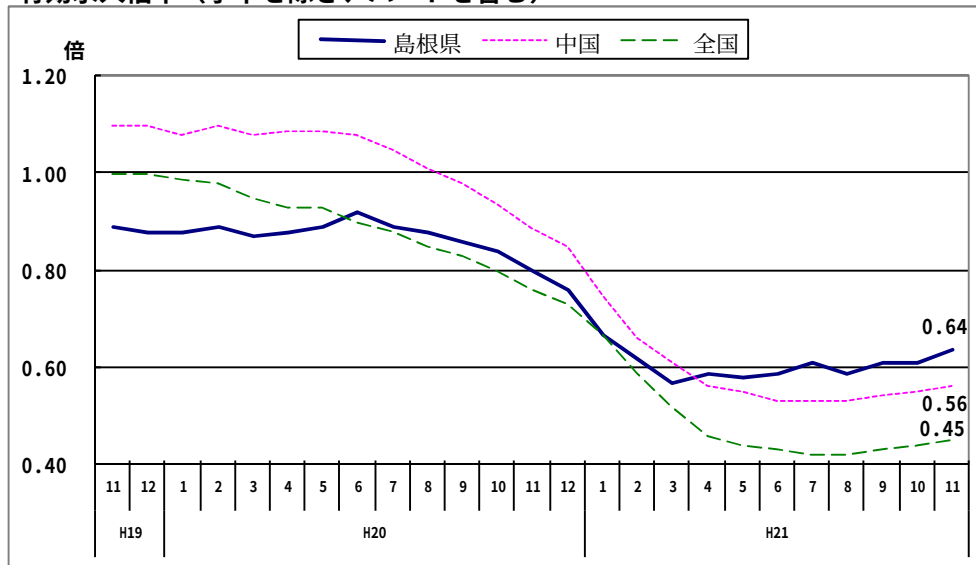
大口電力需要実績



（中国電力㈱）

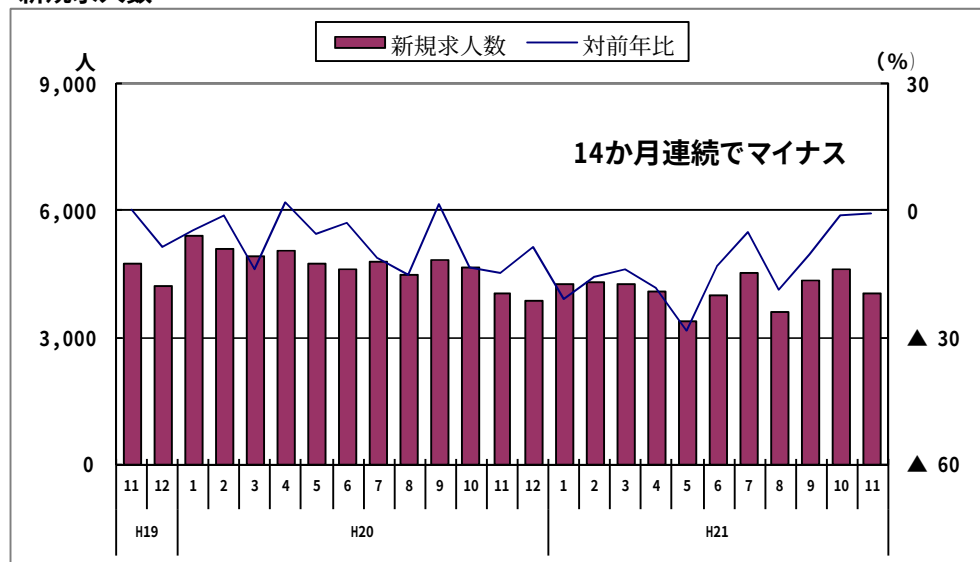
【雇用情勢】 ～厳しい状況～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



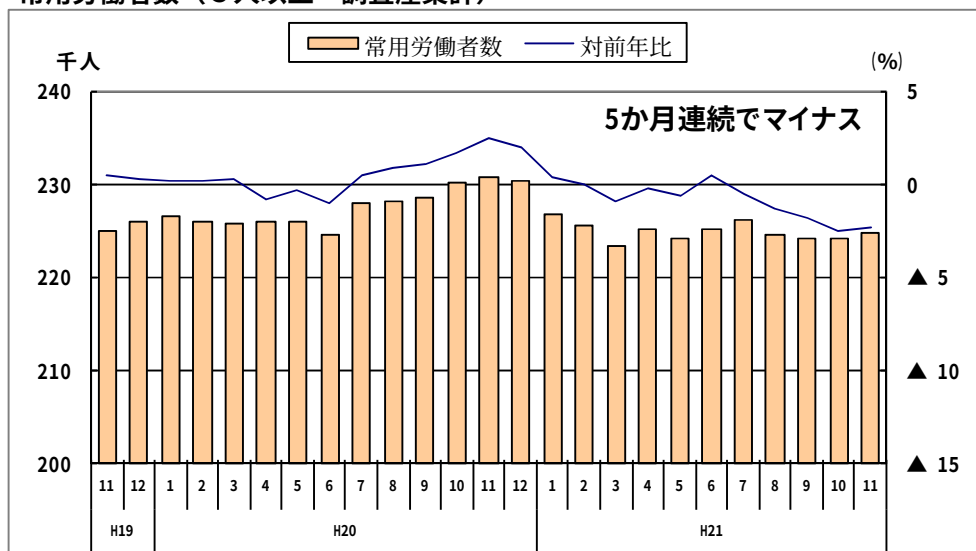
（厚生労働省）

新規求人数



（島根労働局）

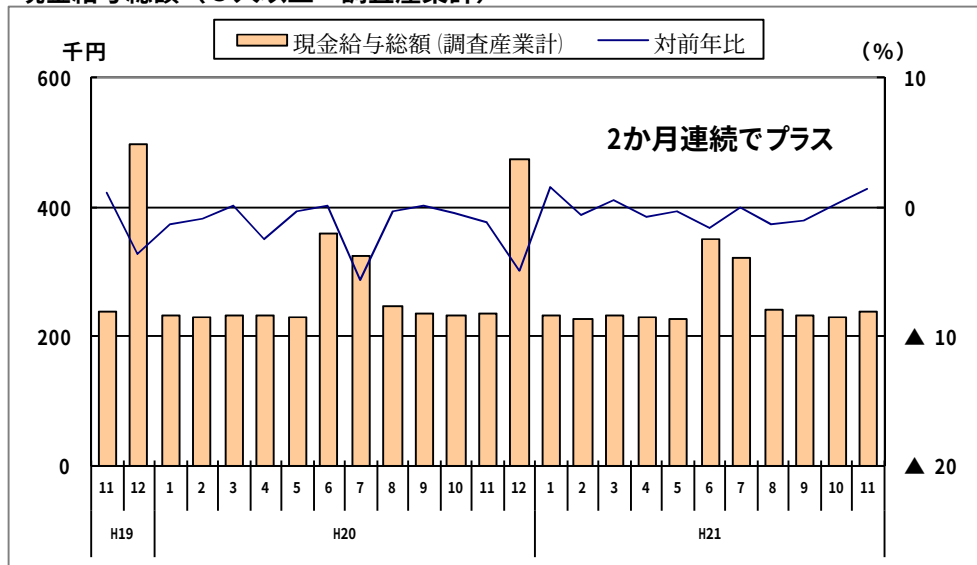
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



（県統計調査課）

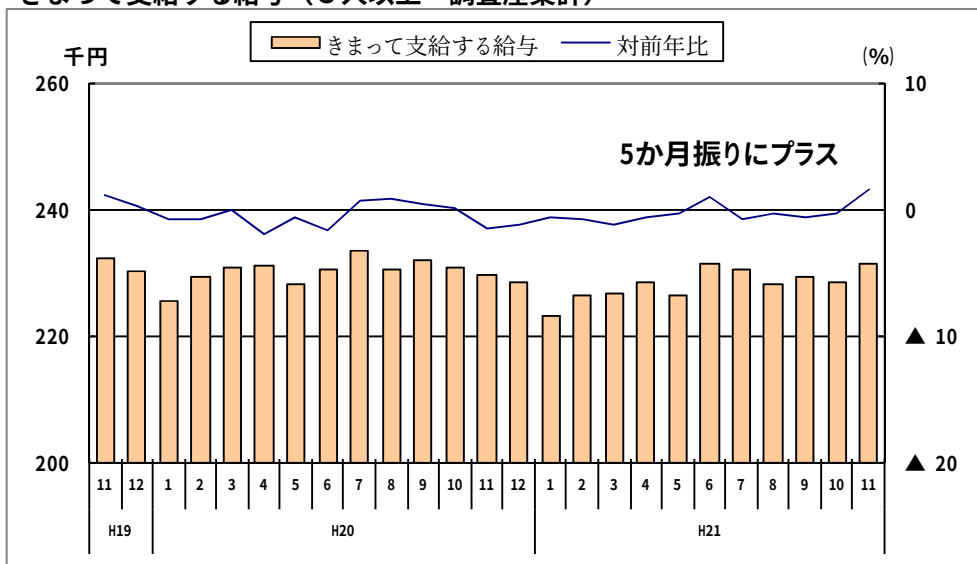
【雇用情勢】 ～厳しい状況～

現金給与総額（５人以上・調査産業計）



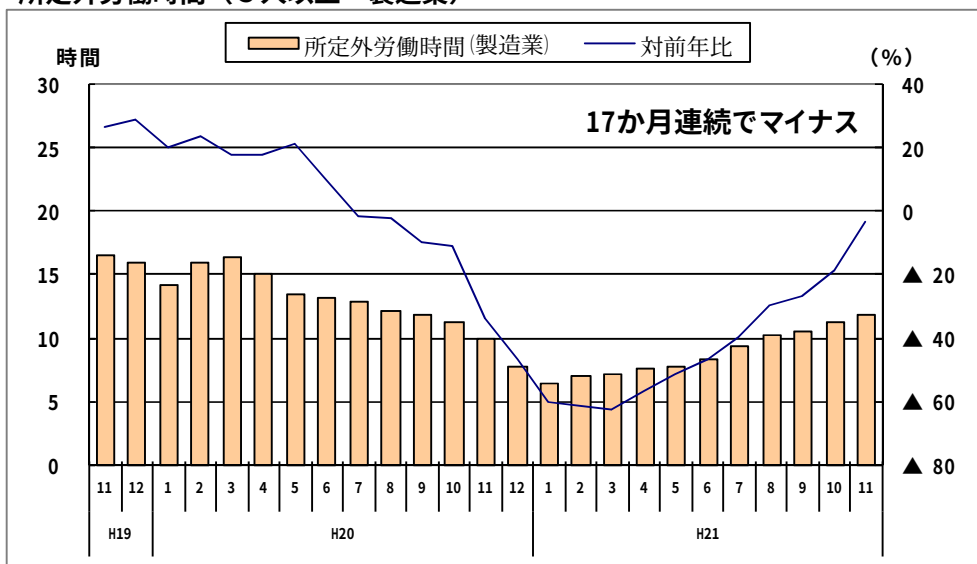
(県統計調査課)

きまって支給する給与（５人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

所定外労働時間（５人以上・製造業）

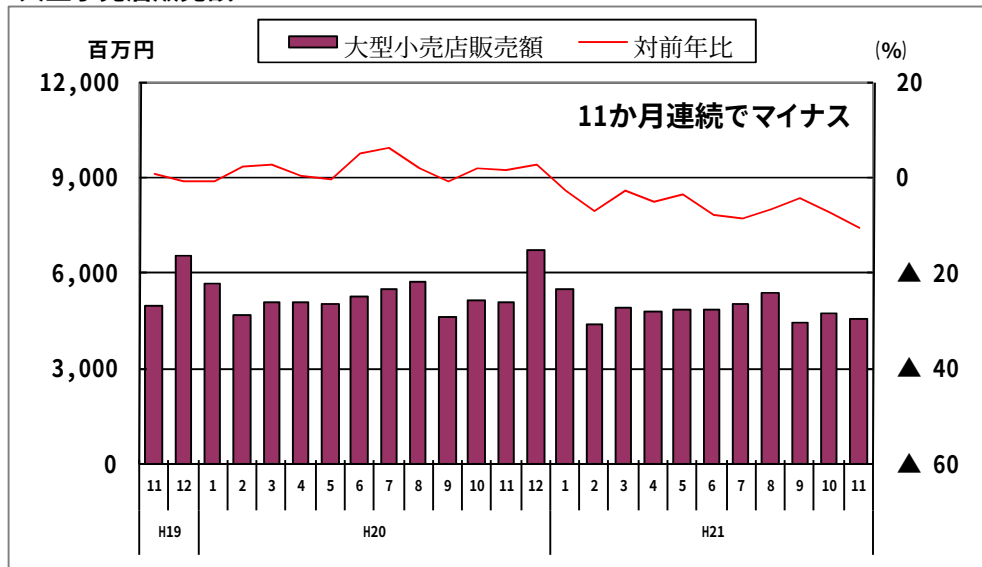


(県統計調査課)

【 個人消費 】

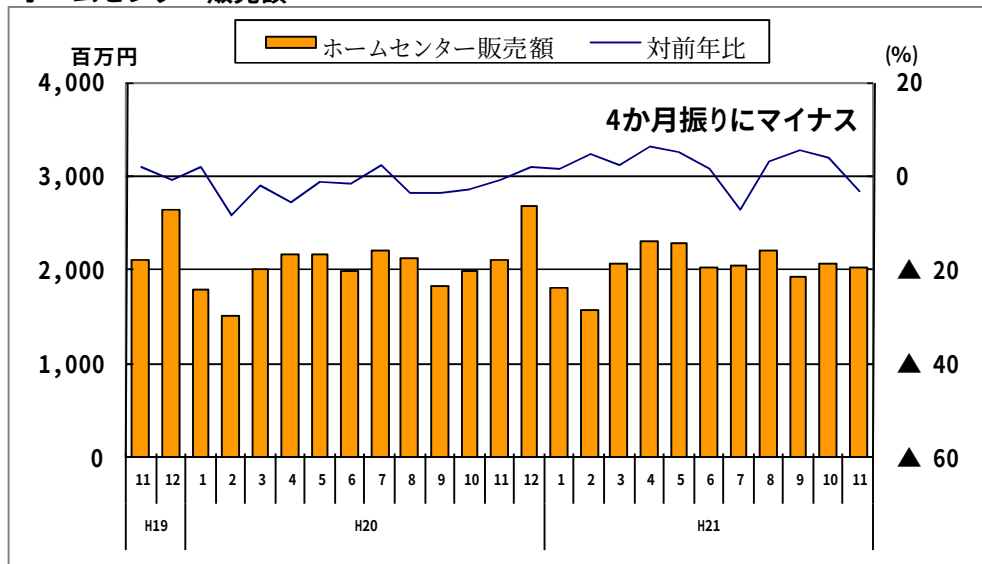
～低調ながら一部に持ち直しの動き～

大型小売店販売額



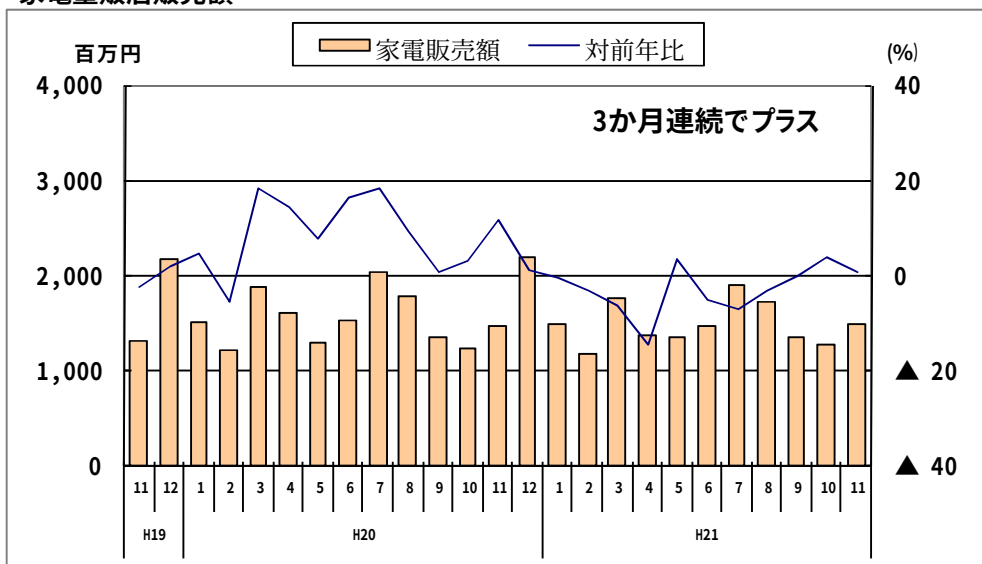
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

家電量販店販売額

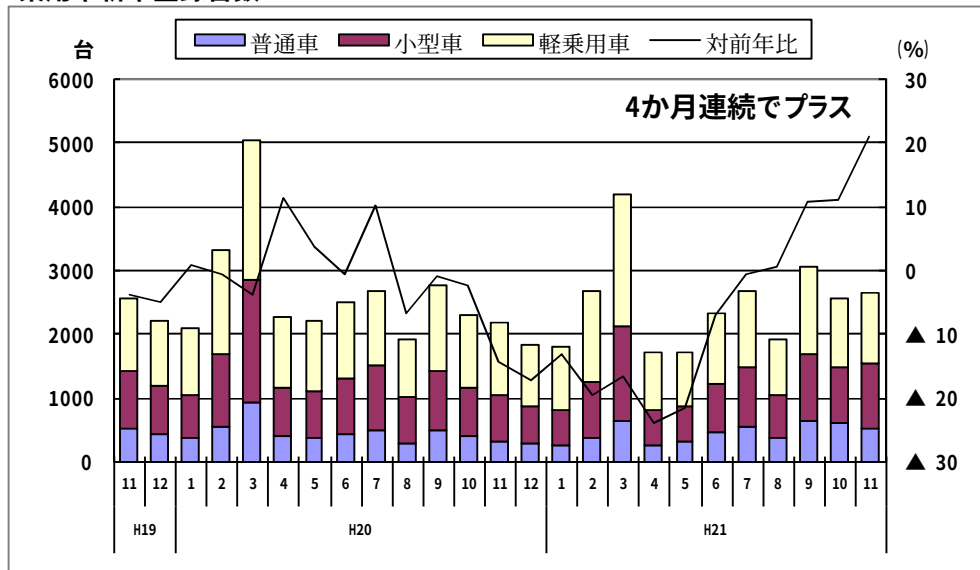


(中国経済産業局)

【 個人消費 】

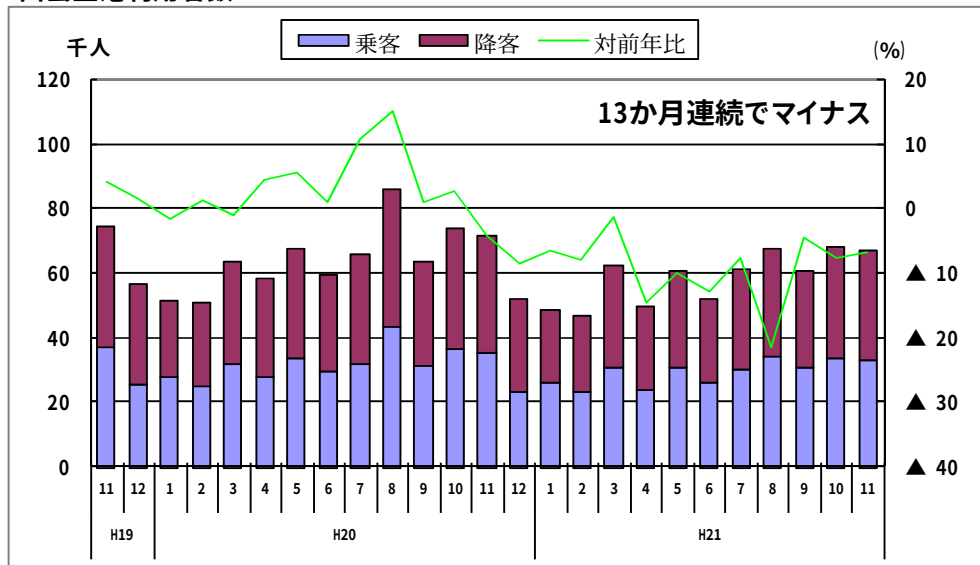
～低調ながら一部に持ち直しの動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

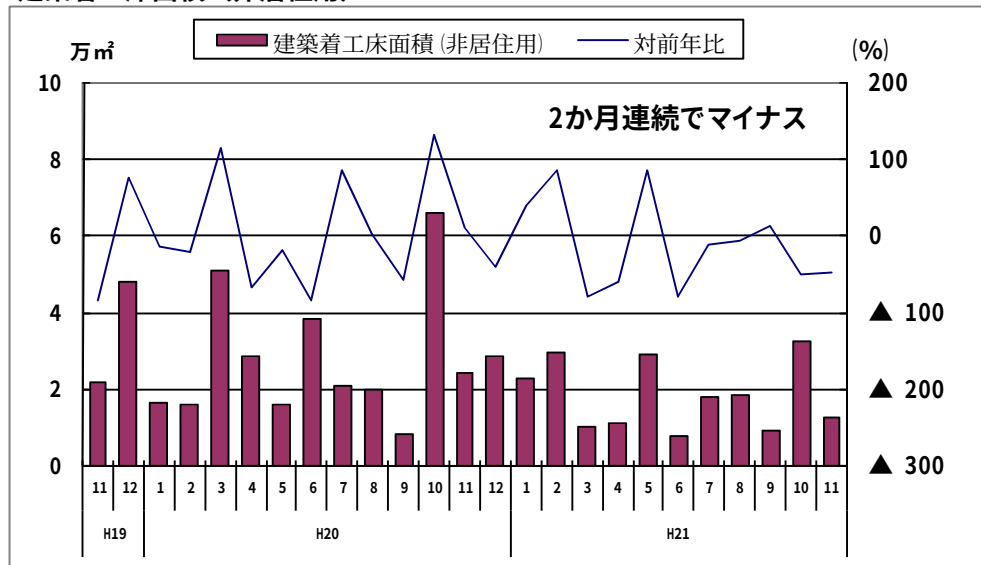
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

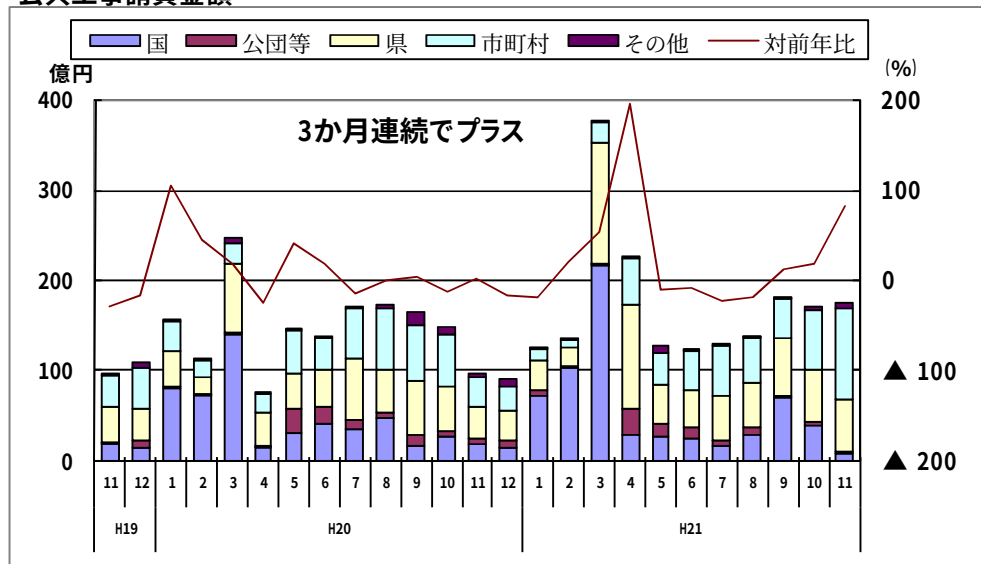
【投資動向】 ～基調としては弱い動き～

建築着工床面積（非居住用）



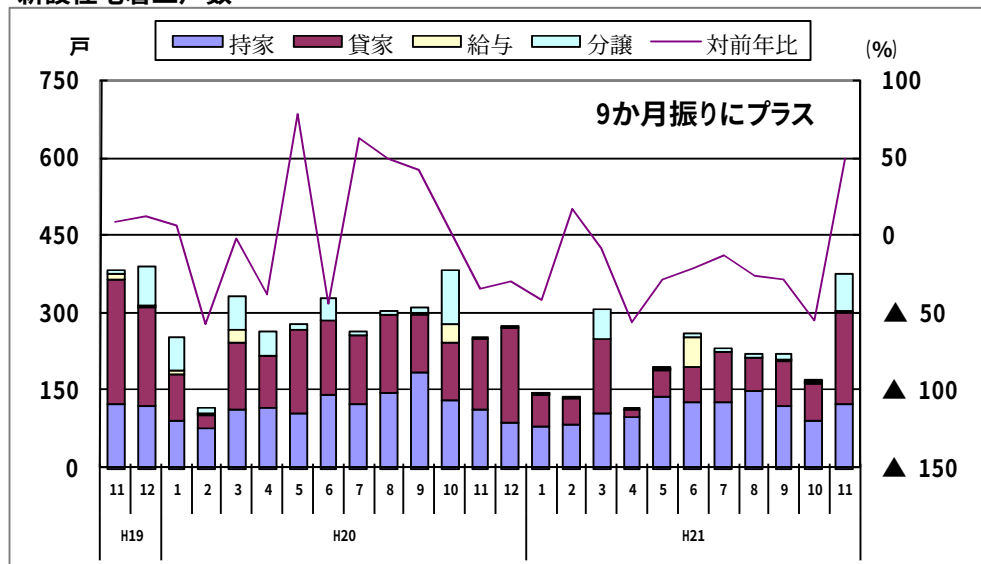
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証㈱)

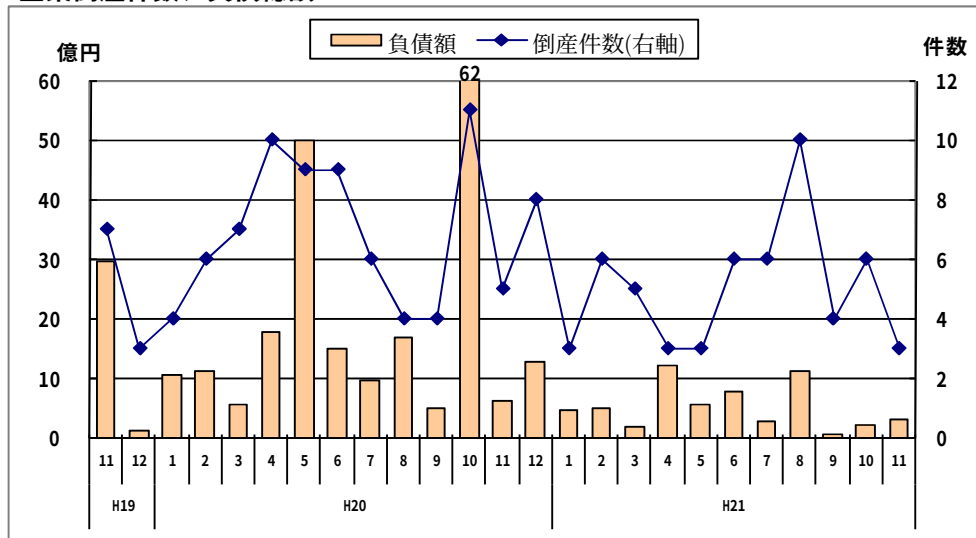
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数 3 件～

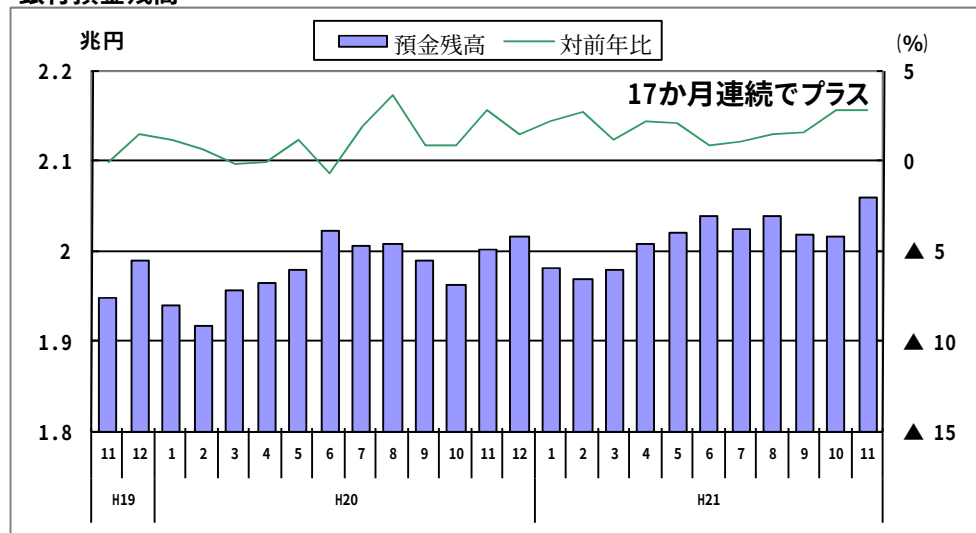
企業倒産件数、負債総額



(株)東京商工リサーチ

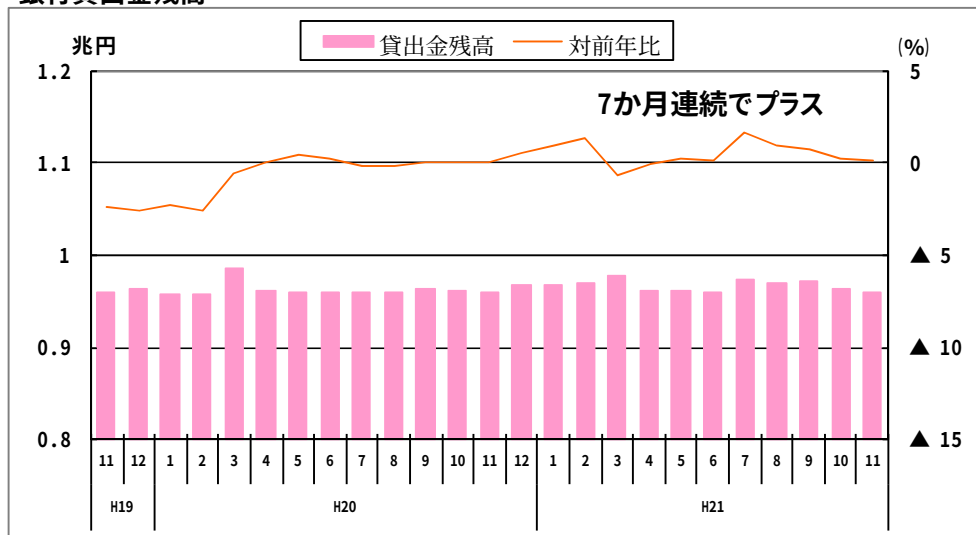
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年0.1%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

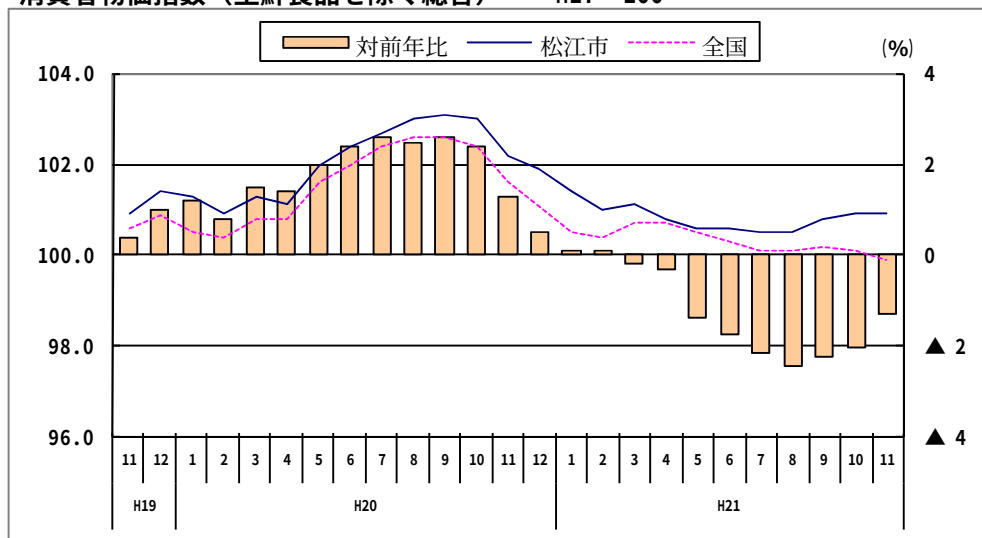
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年1.3%下落～

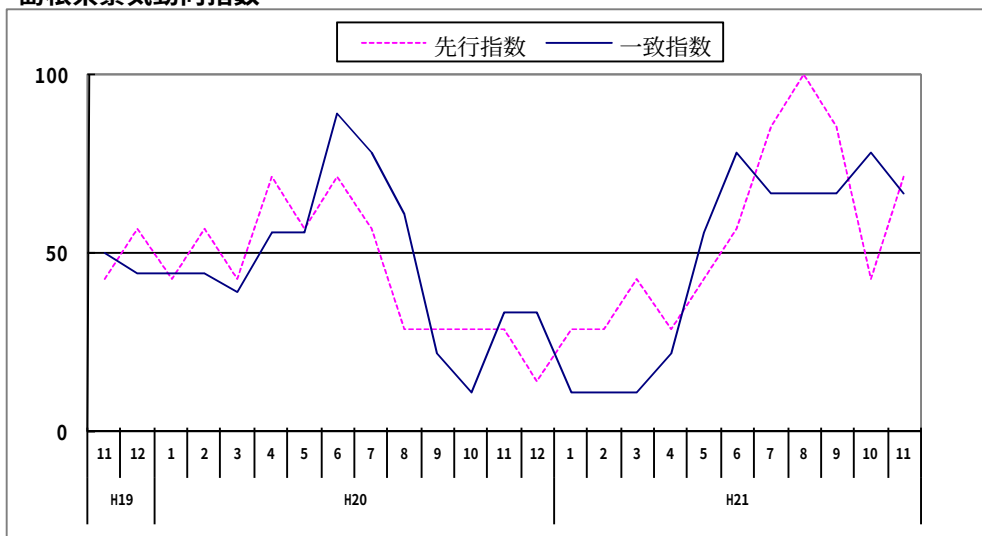
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17=100



(総務省統計局)

そ の 他 (参 考)

島根県景気動向指数



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果（平成21年12月24日 財務省松江財務事務所）

平成21年 10～12 月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	21年 7～9月 前回調査	21年 10～12月 今回調査	22年 1～3月 見 通 し	22年 4～6月 見 通 し
全 産 業	▲ 12.1	(▲13.1) ▲ 6.1	(▲8.1) ▲ 15.2	2.0
製 造 業	21.2	(21.2) 18.2	(12.1) 6.1	18.2
非製造業	▲ 28.8	(▲30.3) ▲ 18.2	(▲18.2) ▲ 25.8	▲ 6.1
大 企 業	16.7	(▲33.3) ▲ 16.7	(16.7) ▲ 16.7	▲ 16.7
中堅企業	▲ 11.4	(▲14.3) ▲ 5.7	(▲5.7) ▲ 25.7	11.4
中小企業	▲ 15.5	(▲10.3) ▲ 5.2	(▲12.1) ▲ 8.6	▲ 1.7

※ () 書きは、前回（21年7～9月期）調査時の見通し。